

オルガノ株式会社

2022年3月期 上期決算説明会

(証券コード : 6368)

2021年11月9日

目 次

1. 2022年3月期 上期実績
2. 2022年3月期 通期見込
3. TOPICS
4. 会社概要

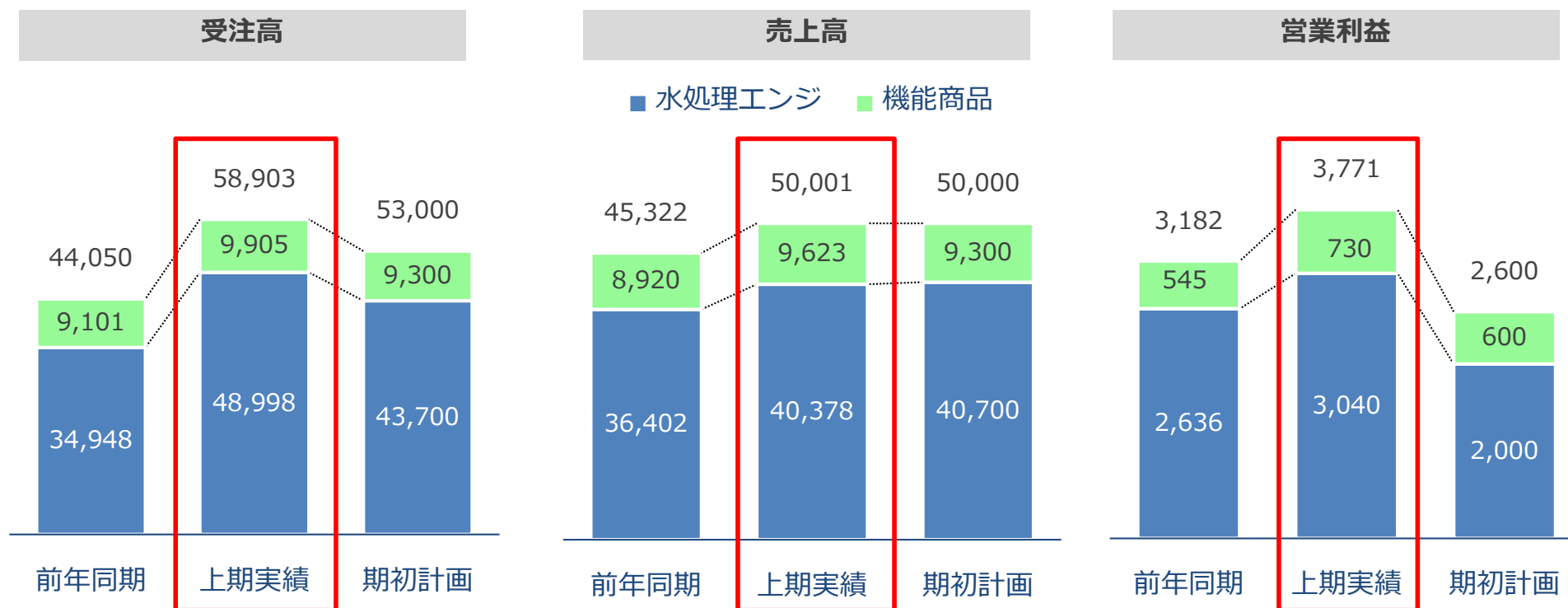
目次

1. 2022年3月期 上期実績
2. 2022年3月期 通期見込
3. TOPICS
4. 会社概要

22年3月期上期実績：概況

- ・ 受注高 : 国内外の電子産業分野で半導体の設備投資が活発に推移
- ・ 売上高 : 国内外の大型プロジェクトの工事進捗により前期比増
- ・ 営業利益 : 電子産業を中心とした増収効果によって営業利益拡大

(単位：百万円)



22年3月期上期実績:概況

電子産業分野	世界的なサプライチェーンの見直しや半導体不足を背景に生産・投資とも活況続く。国内・台湾・中国とも好調に推移
一般産業分野	大型投資の動きは鈍いがソリューション事業を中心に堅調。売上の上期進捗は前年同期・期初想定を若干上回る
電力・上下水分野	国内のソリューション事業を中心に堅調に推移
機能商品事業	水処理薬品は電子産業向けの各種処理剤が好調。標準型水処理機器・フィルタも医療機関向けの小型純水装置などの販売が回復。食品事業は前年同期並水準

22年3月期上期実績：損益計算書

(単位：百万円)	20.9	21.9		前期比 (%)	計画比 (%)
	実績	実績	期初計画		
受注高	44,050	58,903	53,000	+33.7%	+11.1%
売上高	45,322	50,001	50,000	+10.3%	+0.0%
売上総利益 (%)	11,359 25.1%	12,404 24.8%	11,400 22.8%	+9.2%	+8.8%
販管費	8,176	8,632	8,800	+5.6%	-1.9%
営業利益 (%)	3,182 7.0%	3,771 7.5%	2,600 5.2%	+18.5%	+45.1%
経常利益	3,276	4,193	2,550	+28.0%	+64.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,080	2,696	1,500	+29.6%	+79.8%

22年3月期上期実績：受注高の状況（地域別）

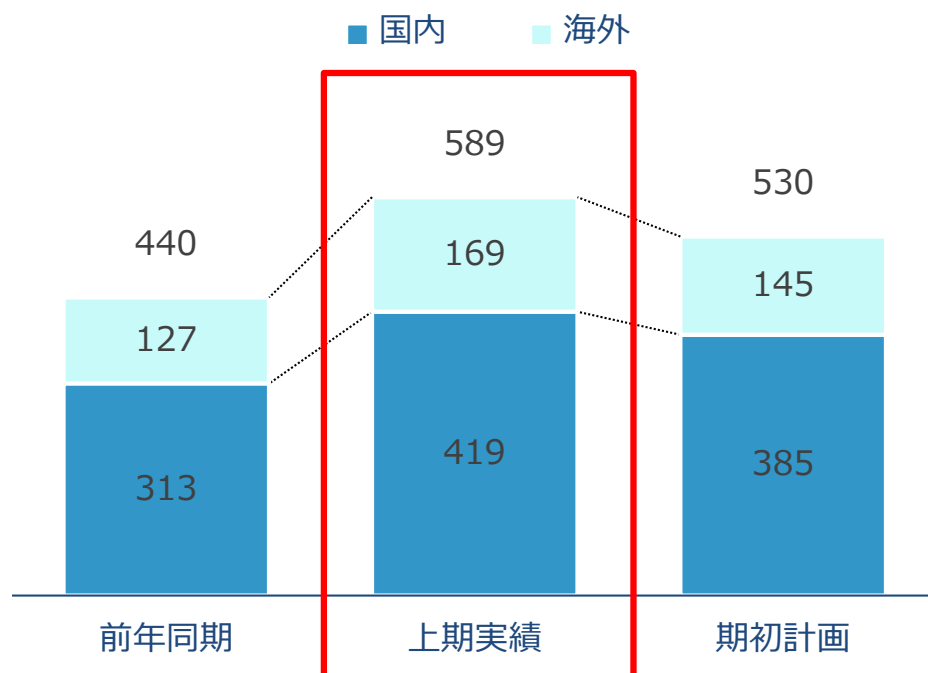
上期受注は電子産業中心に国内・海外とも拡大

国内は半導体向けの大規模な水回収設備の受注決定で増加

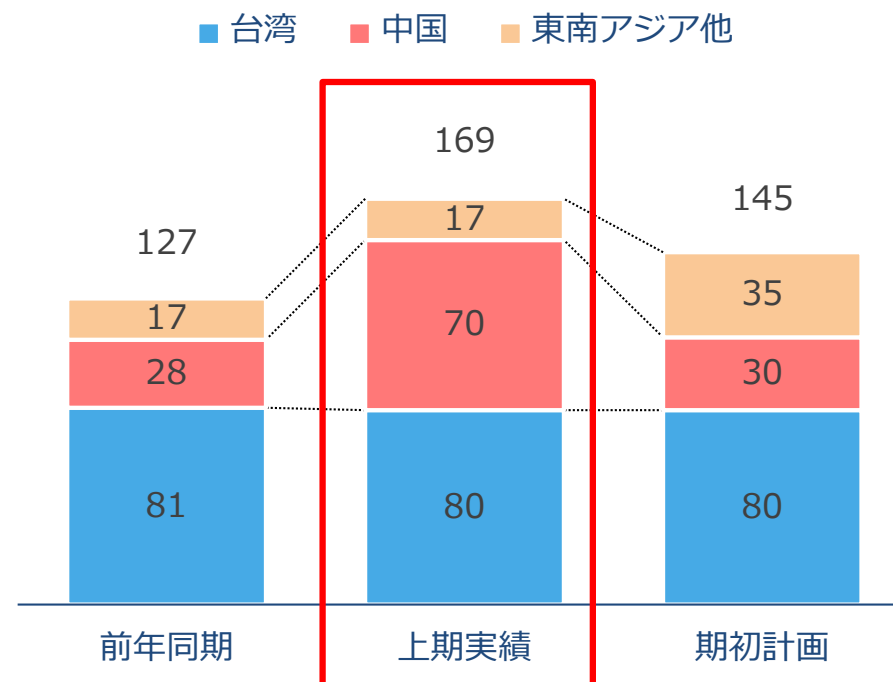
海外は中国で半導体関連の受注が大幅拡大、台湾も高水準で推移

(単位：億円)

受注高：国内・海外



受注高：海外地域別



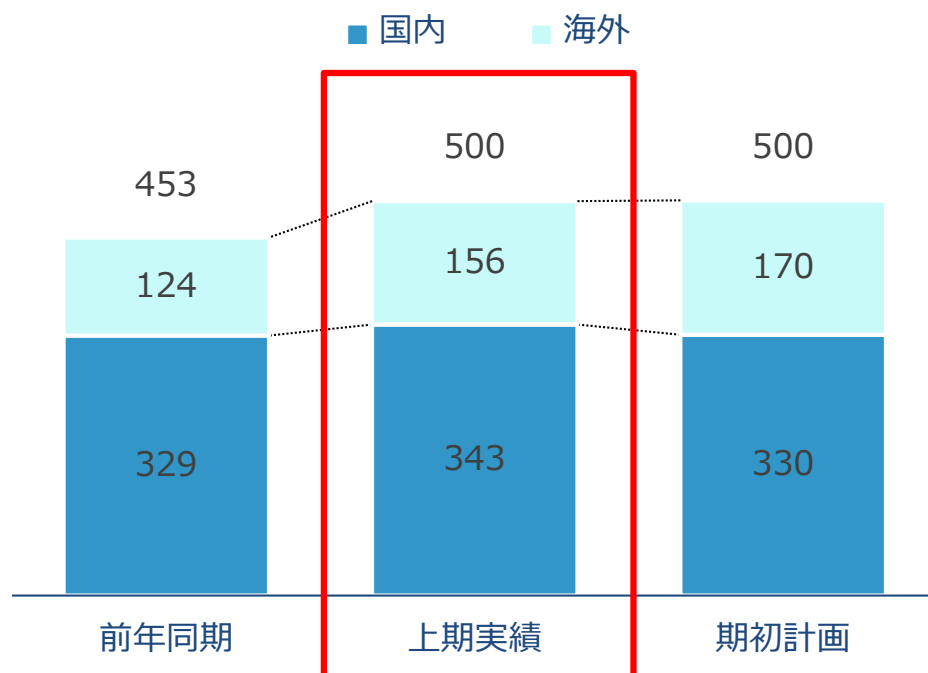
22年3月期上期実績：売上高の状況（地域別）

上期売上は前年同期を上回り期初計画を達成

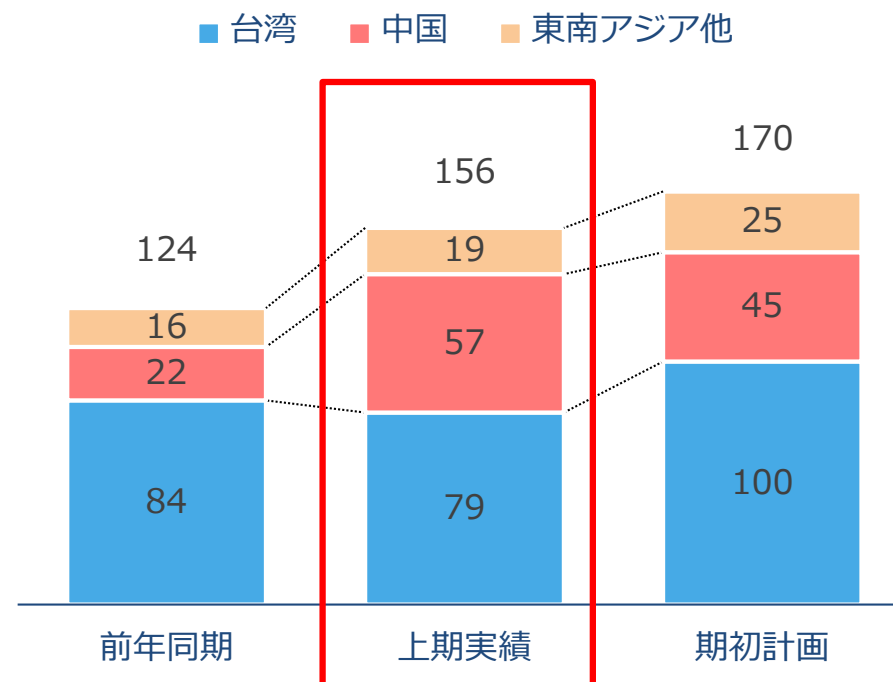
国内は電子産業に加え、一般産業・機能商品も前期比で増加
海外は台湾の進捗が期初の想定を下回るも、中国の売上増が寄与

(単位：億円)

売上高：国内・海外



売上高：海外地域別



22年3月期上期実績：水処理エンジニア事業の状況

水処理エンジニア事業は電子産業中心に前年同期比で拡大

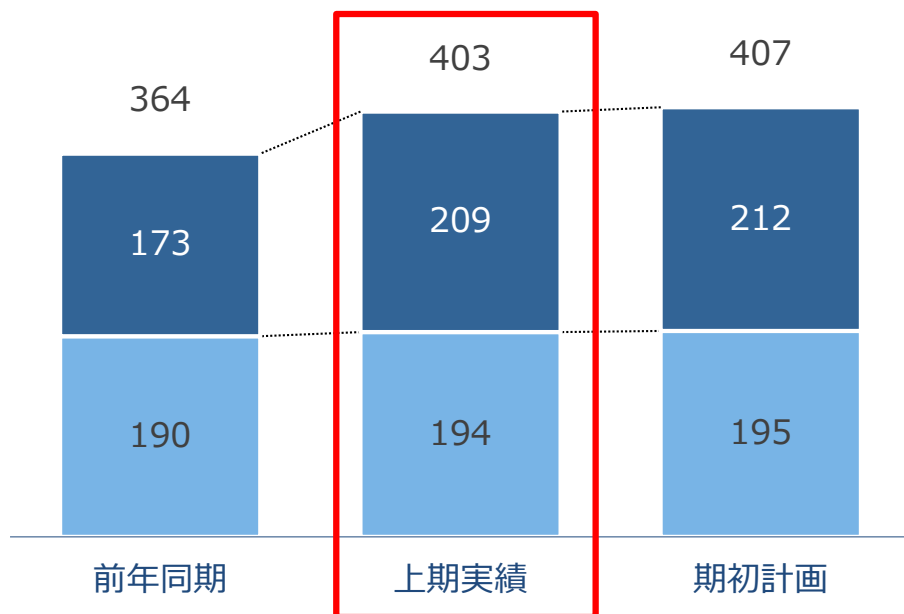
プラントは国内外の半導体プロジェクトの工事進捗により売上増

ソリューションは電子・一般・電力上下水とも堅調に推移

(単位：億円)

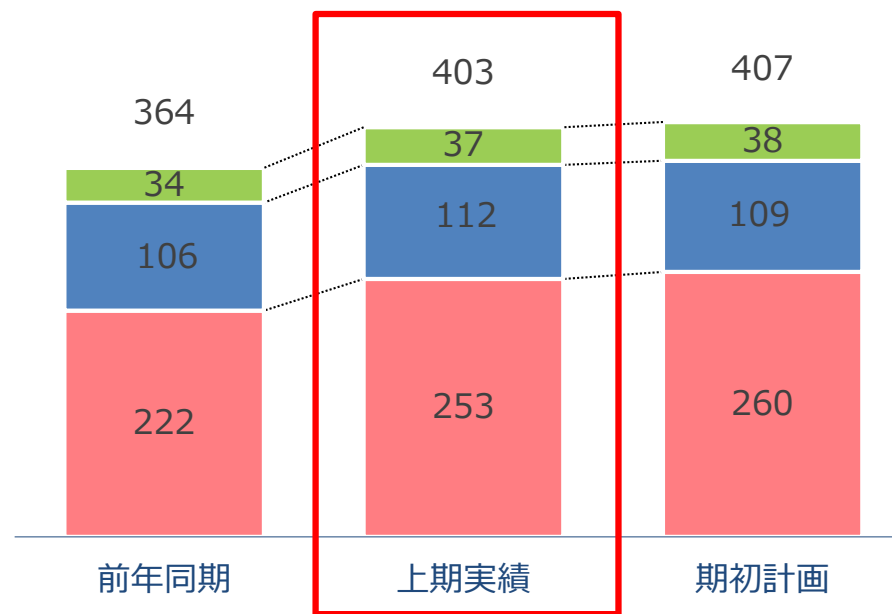
水処理エンジニア売上高：プラント・ソリューション

■ ソリューション ■ プラント



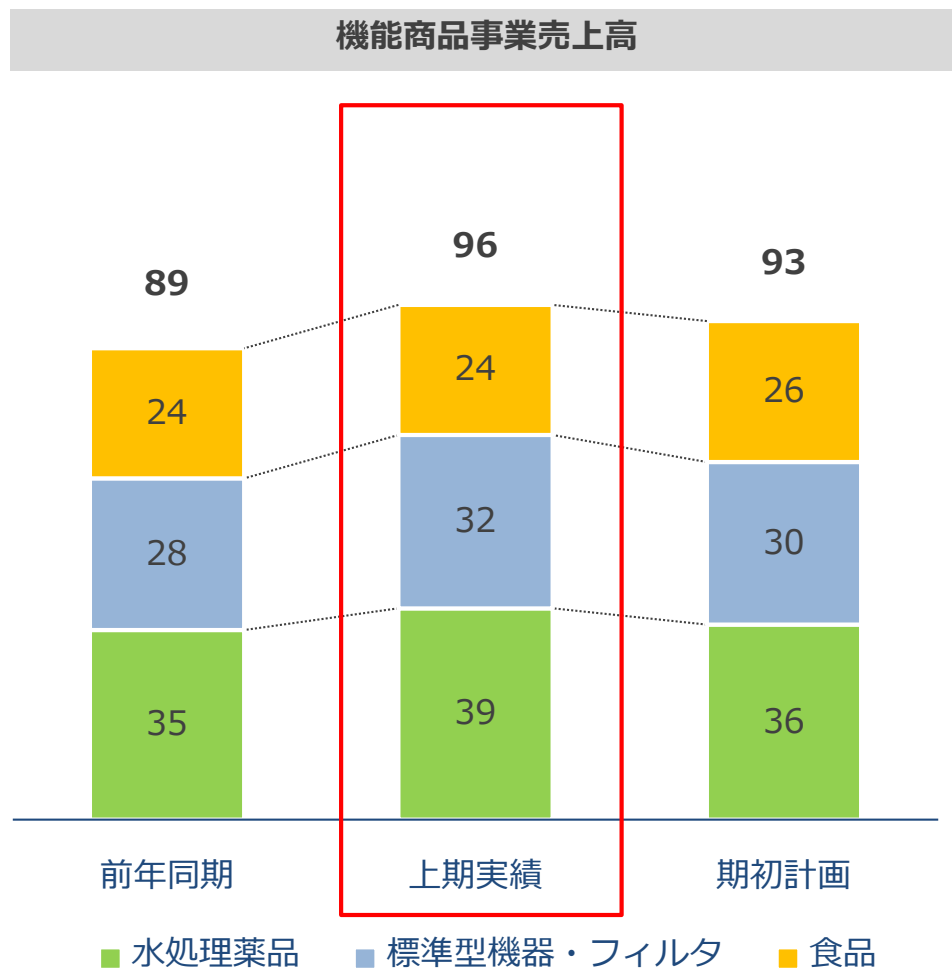
水処理エンジニア売上高：市場分野別

■ 電子産業 ■ 一般産業 ■ 電力・上下水



22年3月期上期実績：機能商品事業売上高

(単位：億円)



■ 水処理薬品

電子産業向けの各種水処理薬剤が好調に推移。その他一般産業向けの冷却水処理剤や排水処理剤なども前年同期比で回復

■ 標準型水処理機器・フィルタ

前期コロナ禍の影響で落ち込んだ医療機関向けの小型純水装置や飲料ディスペンサー向けのフィルタなどの売上が回復

■ 食品

外食向けの製品が回復も、巣ごもり消費の一巡で売上高は前年並に留まる

目次

1. 2022年3月期 上期実績
2. 2022年3月期 通期見込
3. TOPICS
4. 会社概要

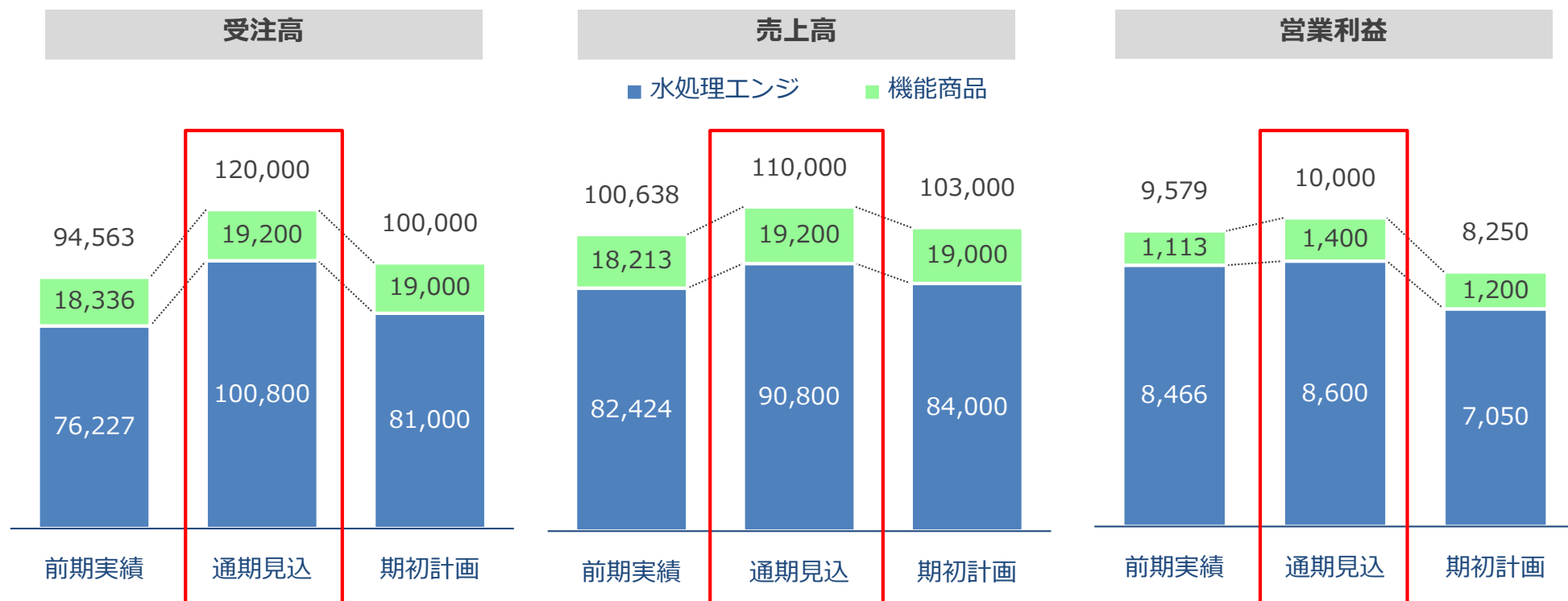
22年3月期通期見込：概況

通期では受注・売上・利益とも過去最高の更新を見込む

水処理エンジニア事業：国内外での電子産業分野の活発な設備投資が寄与

機能商品事業：コロナ禍の影響がみられた前年から回復、業績拡大見込む

(単位：百万円)



22年3月期通期見込：見込の前提

電子産業 分野

【短期的見通し】

国内ではウェハーやパワー半導体などの投資も活発化。海外では台湾の設備投資がさらに加速。北米の案件も開始。中国では下期からメモリーの設備投資も本格化。

【中長期的見通し】

経済的な安全保障の観点から、半導体のサプライチェーン再構築の動きが続く。ビジネスやエンターテインメントなどのITリモートの拡大や電気自動車の発展などグリーン推進による半導体需要の拡大により投資も活発化。ここ数年で大きく投資が拡大した台湾に続き、日本や米国でも設備投資を強化する動き。中国ではレガシー半導体に続きメモリー半導体に対する投資計画も相次ぐ。

22年3月期通期見込：見込の前提

一般産業 分野

中小規模の設備投資やソリューション事業は回復傾向。医薬分野の案件など来期以降大型投資の回復にも期待。当期の売上は大型案件の減少により前期比では減収も計画達成を見込む

電力・上下水 分野

コロナ禍はほぼ影響せず。電力・上下水分野とも国内のソリューション事業を中心に堅調な推移を見込む

機能商品 事業

上期好調であった水処理薬品や標準型水処理機器・フィルタ分野を中心に前期・期初計画を上回る売上を想定。小型純水装置の新商品の投入効果も期待

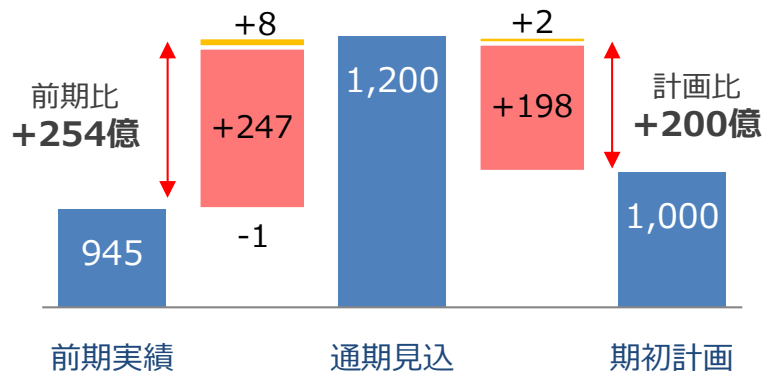
22年3月期通期見込：損益計算書

(単位：百万円)	21.3	22.3		前期比 (%)	計画比 (%)
	実績	見込	期初計画		
受注高	94,563	120,000	100,000	+26.9%	+20.0%
売上高	100,638	110,000	103,000	+9.3%	+6.8%
売上総利益 (%)	26,326 26.2%	27,500 25.0%	26,250 25.5%	+4.5%	+4.8%
販管費	16,746	17,500	18,000	+4.5%	-2.8%
営業利益 (%)	9,579 9.5%	10,000 9.1%	8,250 8.0%	+4.4%	+21.2%
経常利益	9,900	10,300	8,150	+4.0%	+26.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,074	8,200	6,500	+15.9%	+26.2%
ROE(%)	11.1	11.6	9.3	—	—

22年3月期通期見込：受注高・売上高分析

(単位：億円)

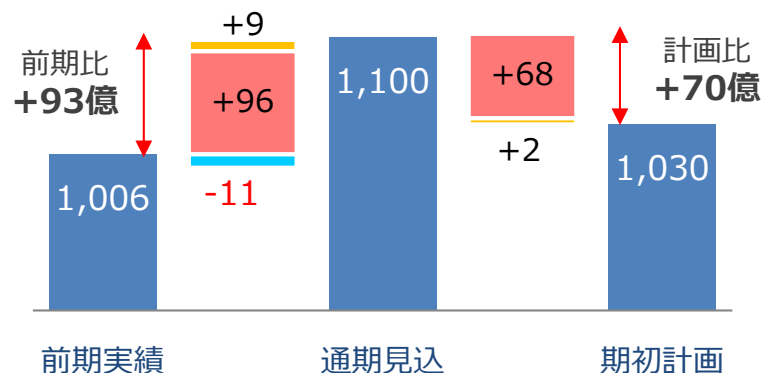
受注高分析



【受注高】

前期比・計画比とも電子産業分野の増加により過去最高となる1,200億円の受注を見込む。一般産業、電力・上下水分野はほぼ前期並。機能商品事業は前期比で8億円の増加見込む。

売上高分析



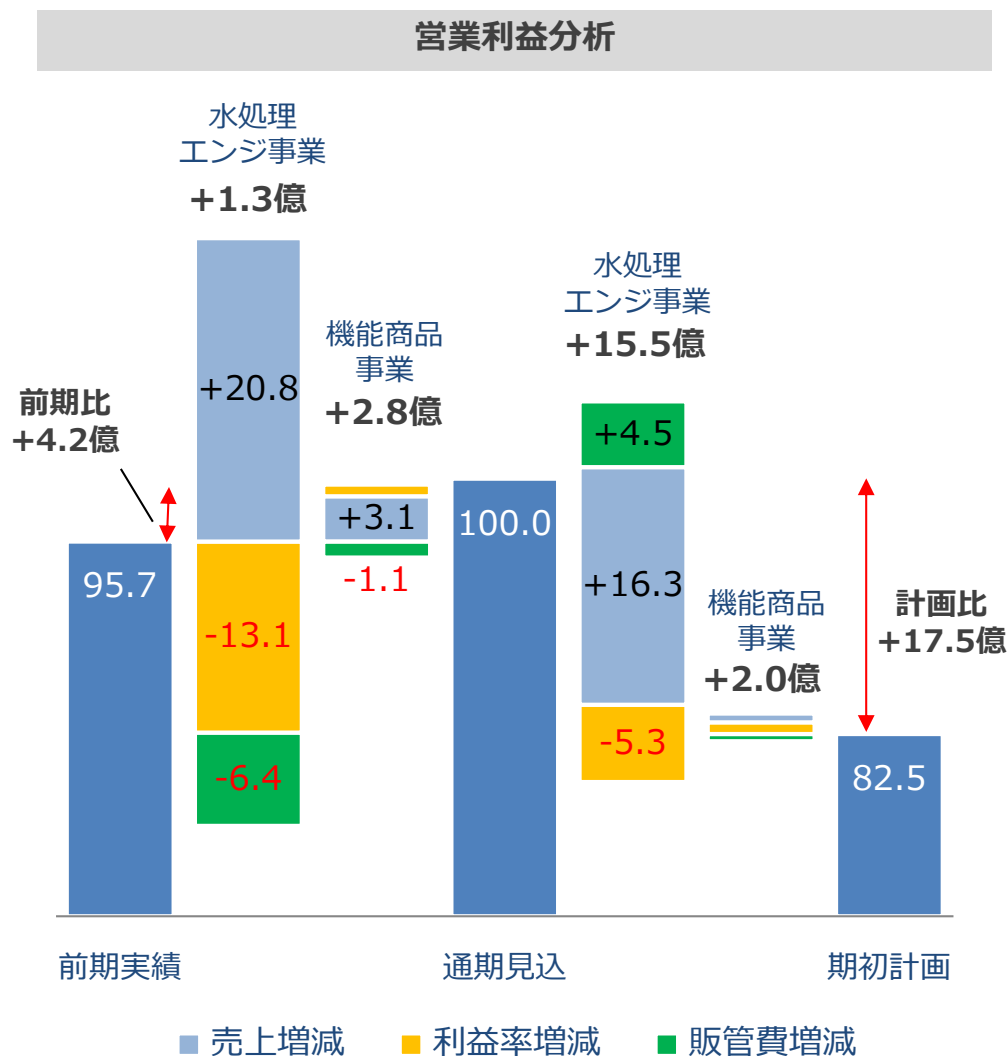
【売上高】

前期比・計画比とも電子産業分野の増加により過去最高となる1,100億円の売上を見込む。一般産業は大型案件の売上があった前期に比べて減少。電力・上下水分野は前期並。機能商品は前期比で9億円の増加見込む。

■ 電子産業 ■ 一般産業 ■ 機能商品

22年3月期通期見込：営業利益分析

(単位：億円)



■ 前期比

- ・ 電子産業分野の増収効果がプラント比率増加による利益率低下をカバー
- ・ 機能商品事業は水処理薬品や標準型機器の増収効果により利益増加
- ・ 販管費は人件費を中心に増加

■ 計画比

- ・ 国内外で半導体関連のプロジェクトを想定以上に受注。売上増により利益も拡大見込み
- ・ 機能商品事業は水処理薬品や標準型機器の増収効果により利益増加
- ・ 販管費は期初計画を下回る見込み

22年3月期通期見込：地域別受注高

受注高は前期実績を上回り過去最高を達成見込み

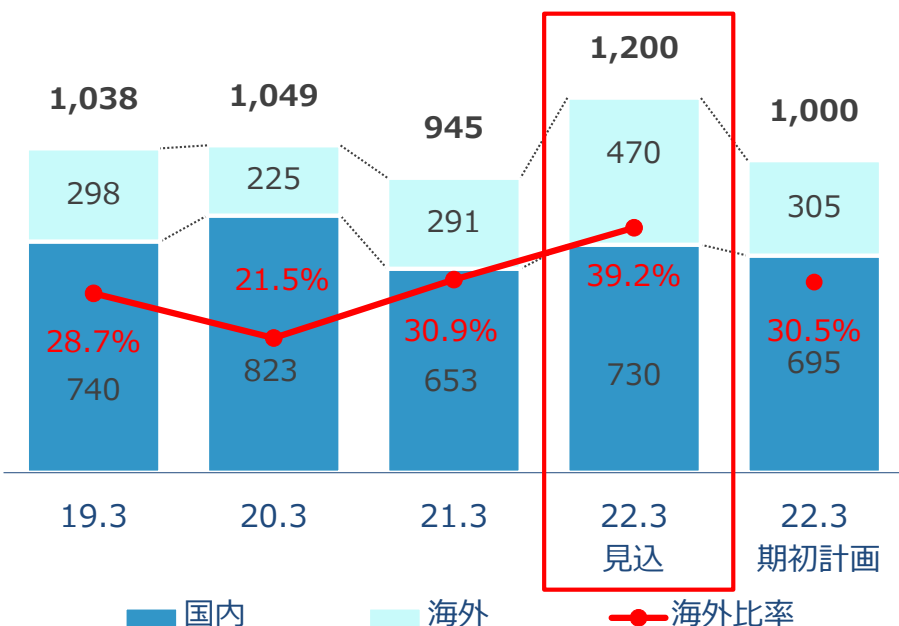
国内：上期受注の大型案件に加え、複数の電子産業案件が寄与

海外：アメリカのプロジェクト受注を想定、台湾・中国も好調

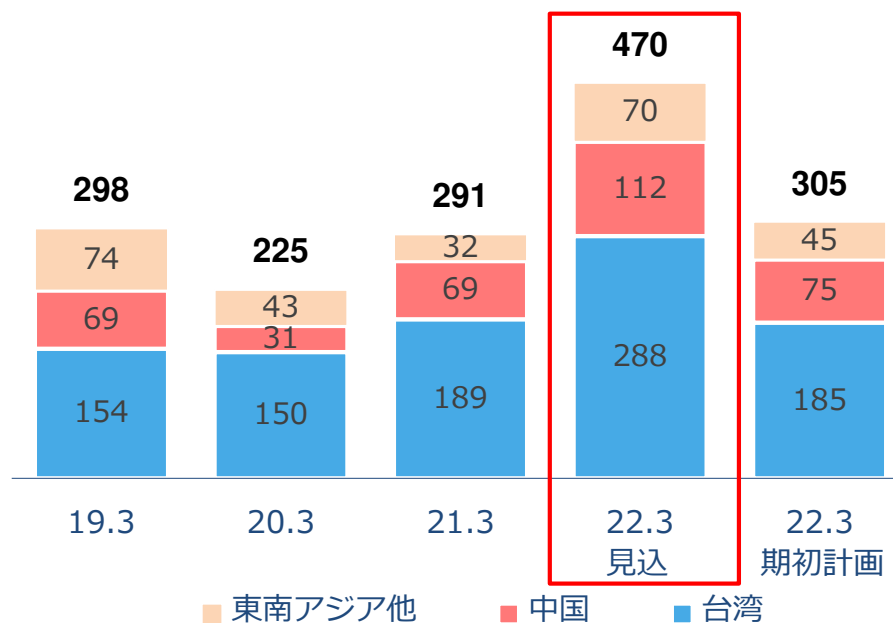
(*アメリカのプロジェクトは契約窓口である台湾に含む)

(単位：億円)

受注高：国内・海外



受注高：海外地域別



22年3月期通期見込：地域別売上高

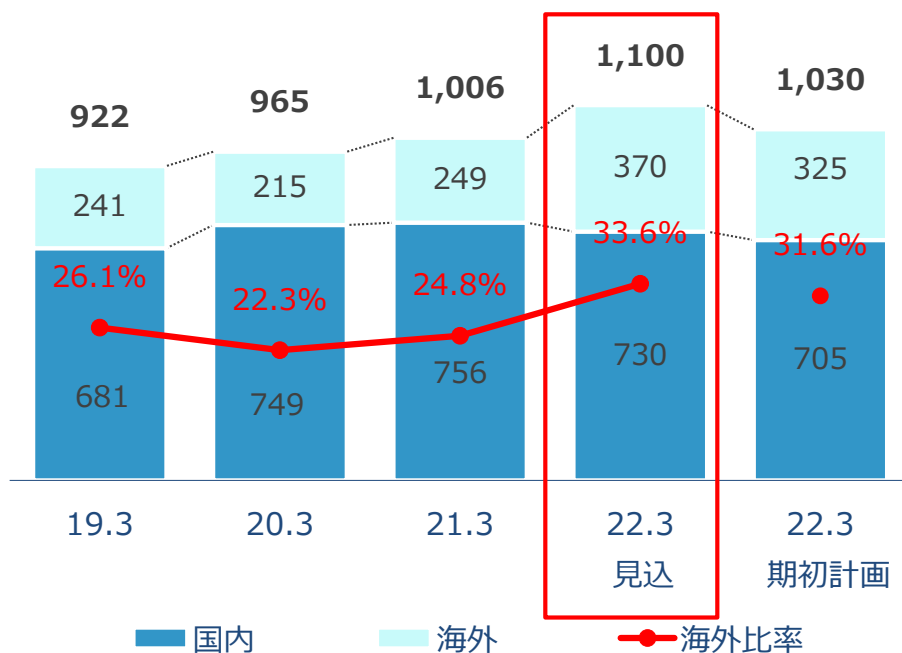
売上高も前期実績を上回り過去最高を達成する見込み

国内：電子産業の案件増加で計画を上回る売上高を想定

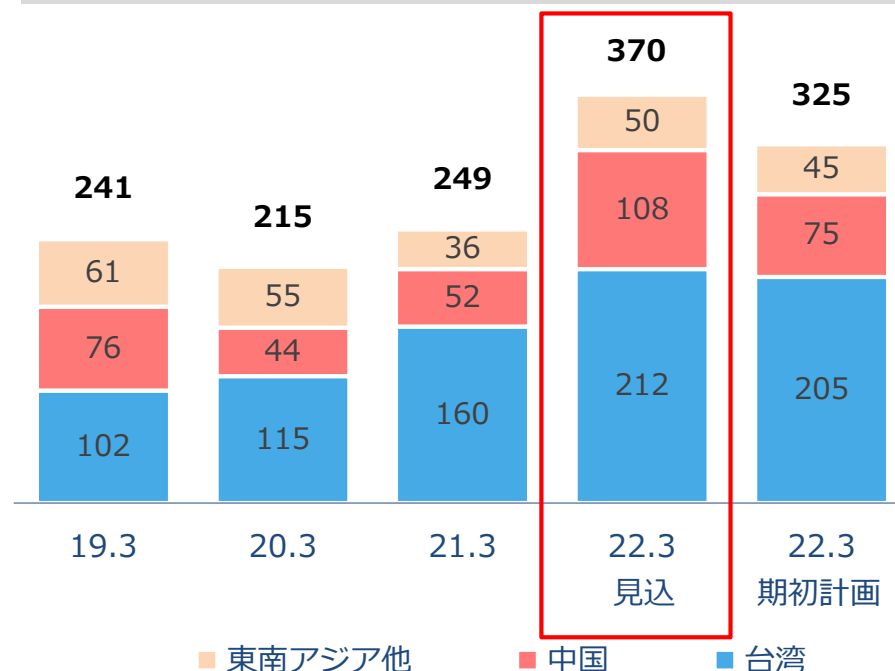
海外：台湾は米国案件も含め拡大、中国も受注増で売上拡大

(単位：億円)

売上高：国内・海外



売上高：海外地域別



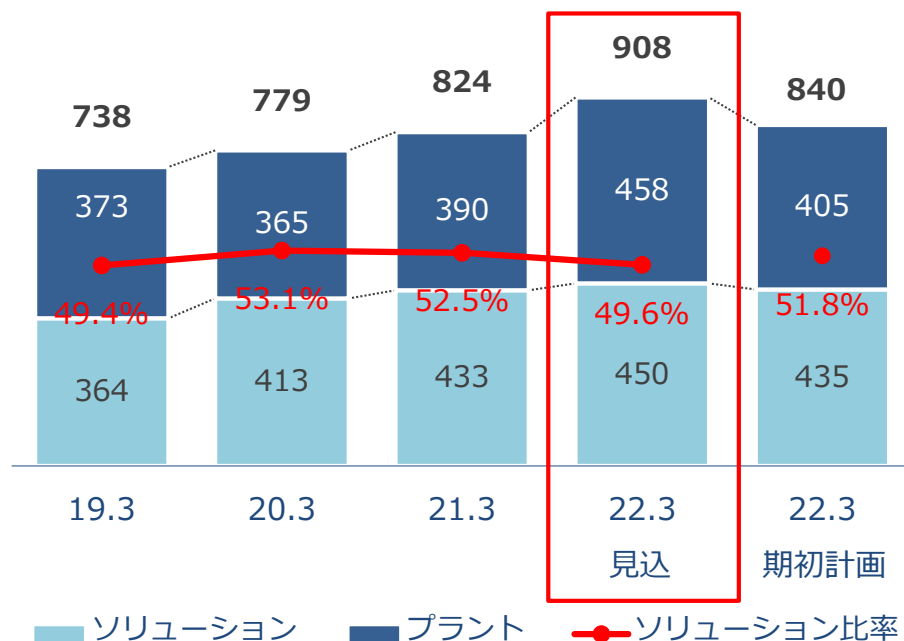
22年3月期通期見込：水処理エンジニア事業売上高

水エンジニア事業は電子産業分野のプラントを中心に売上拡大

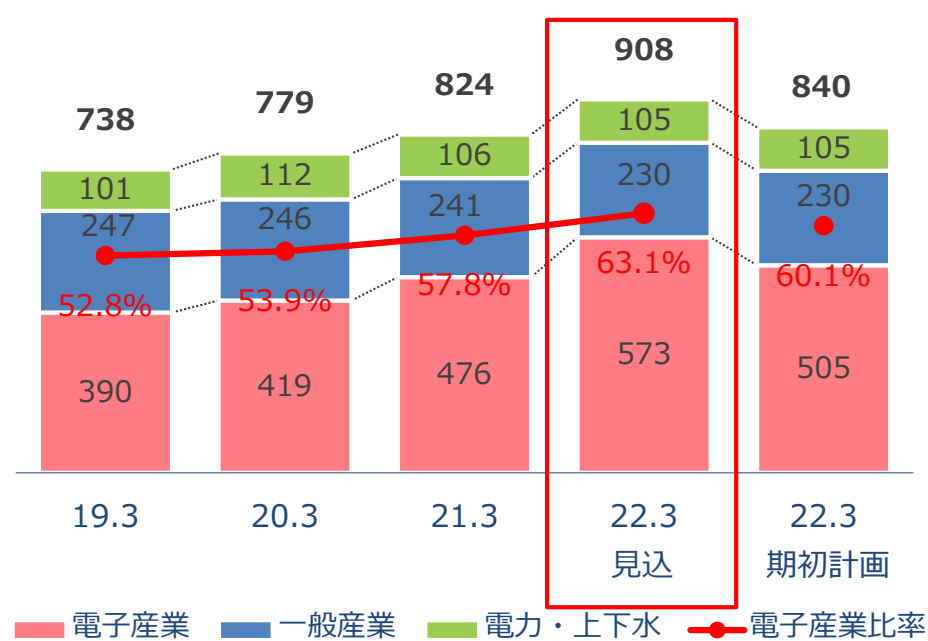
電子産業は国内・台湾・中国で売上が増加、ソリューションも好調
 一般産業、電力・上下水はソリューション中心に堅調な推移

(単位：億円)

水処理エンジニア売上高：プラント・ソリューション



水処理エンジニア売上高：市場分野別



22年3月期通期見込：電子産業分野受注高

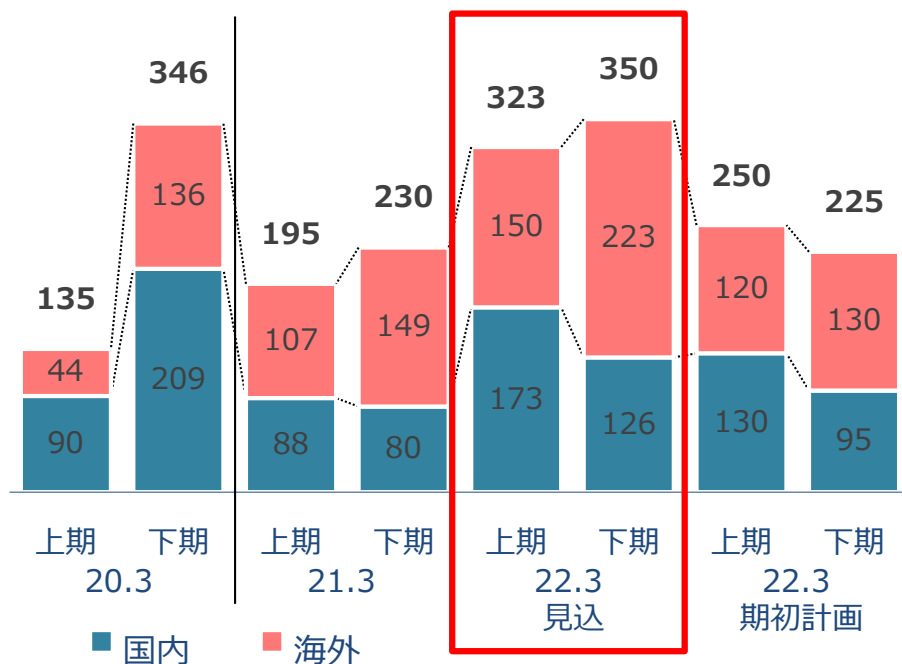
国内外の設備投資活発で受注高は上期・下期とも高水準

国内：上期の大型水回収設備の受注に加え、下期以降、ウェハーやパワー半導体などの投資案件の受注も想定

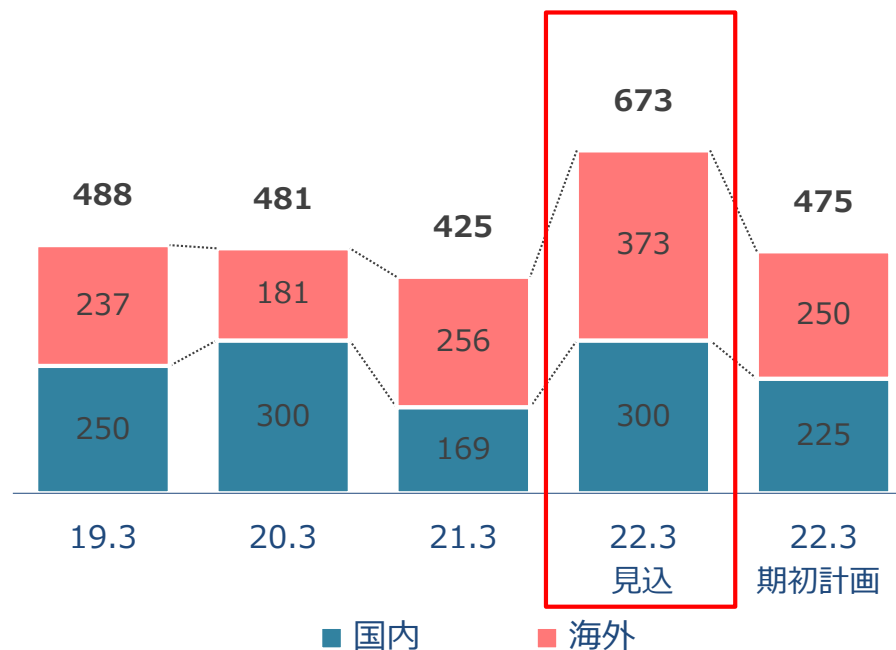
海外：台湾・中国に加え米国の半導体プロジェクトの受注を想定

(単位：億円)

電子産業分野：受注高（上下比較）



電子産業分野：受注高



22年3月期通期見込：電子産業分野売上高

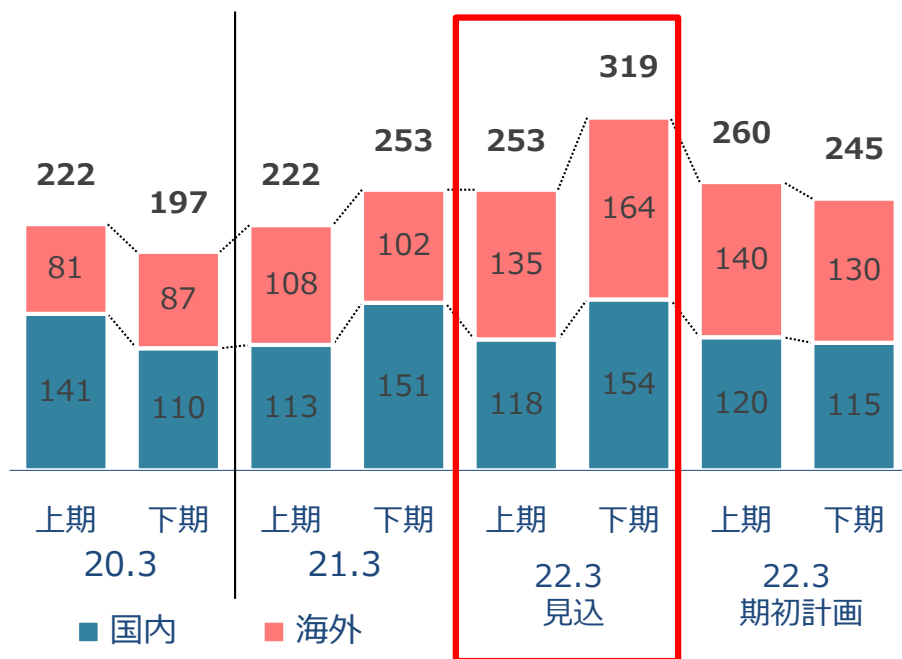
売上高は受注から半年程度遅行、国内・海外とも順調

国内：大型の半導体プロジェクトなど受注案件の工事の進捗を想定

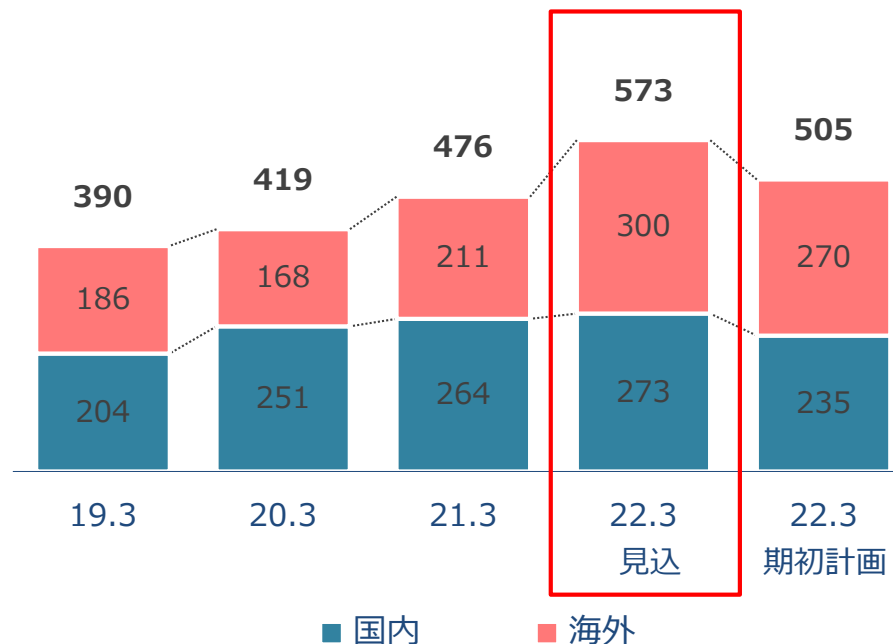
海外：台湾・中国などの大型案件の工事進捗を想定

(単位：億円)

電子産業分野：売上高（上下比較）



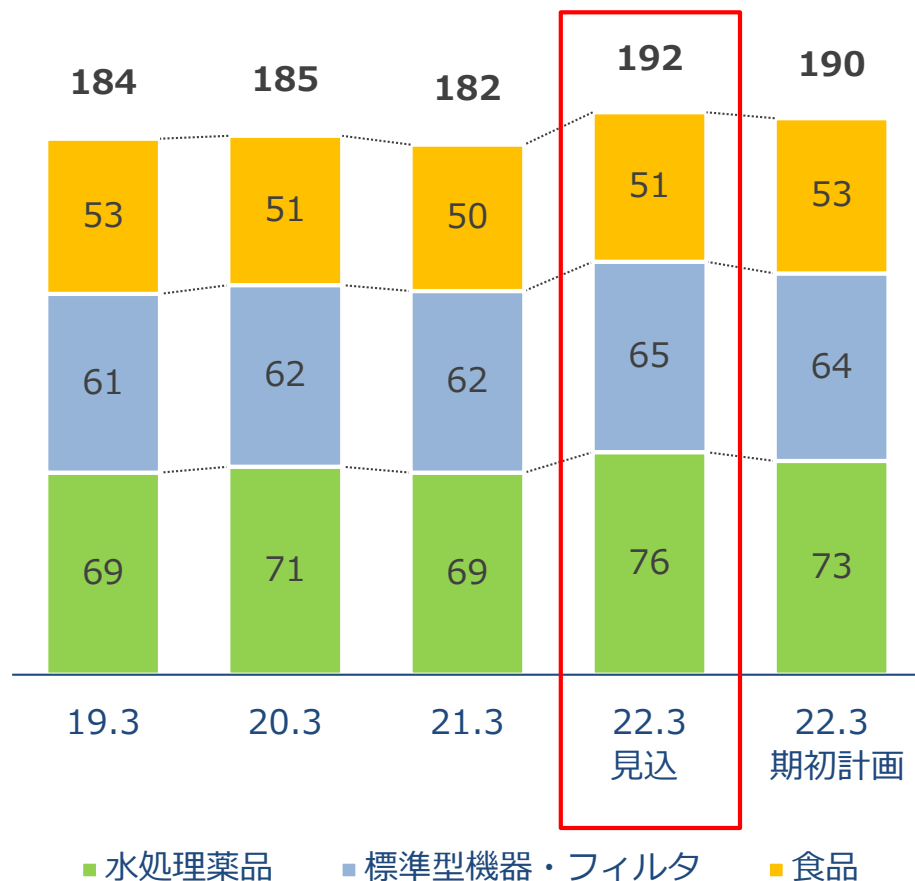
電子産業分野：売上高



22年3月期通期見込：機能商品事業売上高

(単位：億円)

機能商品事業売上高



■ 水処理薬品

上期好調であった電子産業・一般産業向けの各種処理剤の売上拡大を見込む

■ 標準型水処理機器・フィルタ

医療機関などに向けた小型純水装置や飲料ディスペンサーなどに向けた浄水フィルタの売上拡大を見込む

■ 食品

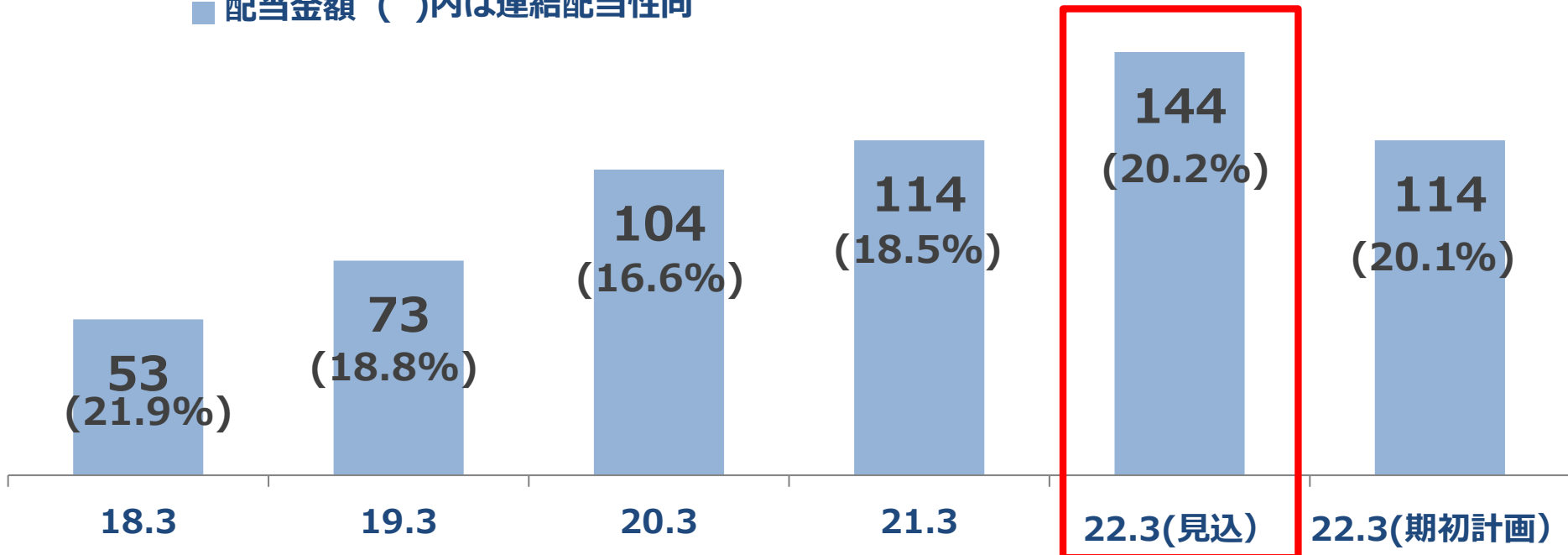
巣ごもり消費が一巡するも、外食向け製品の販売回復等で前期並の売上高を想定

配当金の推移

- 22.3期は上期実績及び通期見込とも期初計画より上方修正。
これに伴って年間配当金は前期比30円増となる144円を予定
- 安定的・継続的な配当の実施を基本方針としつつ、
収益の状況に応じた利益配分に努める

(単位：円)

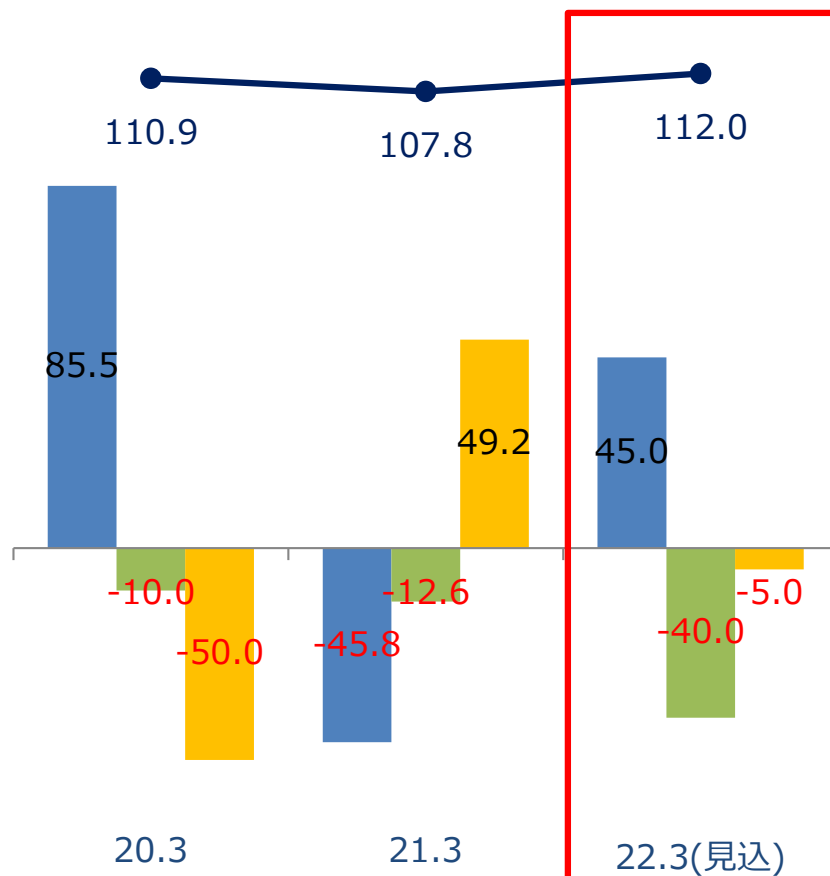
■ 配当金額 ()内は連結配当性向



キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)

キャッシュ・フロー推移



■ 営業CF
 ■ 投資CF
 ■ 財務CF
 ● EBITDA
 (営業利益 + 減価償却費)

- 当社キャッシュ・フローは業績の動向に加え、大型プロジェクトの工事進捗・代金の回収状況が増減に大きく影響
- 営業キャッシュ・フローには加工受託案件への投資金額を含む。
21.3期~24.3期まで段階的に合計200億円を超える投資を見込む
- 22.3期の投資キャッシュ・フローは**開発センターの新棟増設30億円**の投資を含む
- 財務キャッシュ・フローに含まれる配当総額は継続的に拡大。**22.3期は20.3期比47%増の15.4億円**を見込む

主な指標

	21年3月期 実績	22年3月期 見込	22年3月期 期初計画
設備投資額 (百万円)	1,015	4,500	4,500
技術研究費 (百万円)	2,300	2,300	2,300
減価償却費 (百万円)	1,212	1,200	1,200
有利子負債 (百万円)	16,005	17,000	17,000
従業員数 (人)	2,319	2,450	2,340

目次

1. 2022年3月期 上期実績
2. 2022年3月期 通期見込
3. TOPICS
4. 会社概要

TOPICS : 機能商品事業の強化

小型超純水装置 μ の上市

- 分析や研究などのラボラトリー市場に向け、水道水直結型の小型超純水装置「ピューリック μ 」を上市
- 優れたメンテナンス性・高いコストパフォーマンス・直感的に採水できるデザインを実現



- IoT機能により装置をリアルタイムで監視。クラウドサービスによる装置の一括管理を実現



TOPICS : グローバル対応

オルガノ (USA) 設立

2021年度にアメリカで大型の半導体プロジェクトを受注。今後も半導体工場の新増設が見込まれるため、当社グループのアメリカでの事業拠点としてアリゾナ州フェニックスにオルガノ (USA) を設立

グローバル エンジニアリング センターの開設

オルガノグループにおけるプロジェクトの設計などエンジニアリング業務を集中対応する組織としてグローバルエンジニアリングセンターをベトナムに開設。進展が続く半導体市場に向けたキャパシティの拡大とエンジニアリングコストの削減を目指す

TOPICS : ガバナンス関連

ESG・SDGs への取り組み

当社グループのサステナビリティに関わる取組み方針や戦略を立案し、ESG・SDGsに関連する活動を推進するためにサステナビリティ委員会・サステナビリティ実行会議を2021年度下半期に設置、活動を開始

プライム市場 選択申請

東証の市場区分変更に向け、プライム市場の上場維持基準への適合を確認。2021年8月30日の取締役会でプライム市場の選択を決議

JPX中小型 200社に選定

2021年8月よりJPX日経中小型株指数の構成銘柄200社に選定。継続的な構成銘柄入りを目指し、さらなる企業価値の向上・情報発信の充実を図る

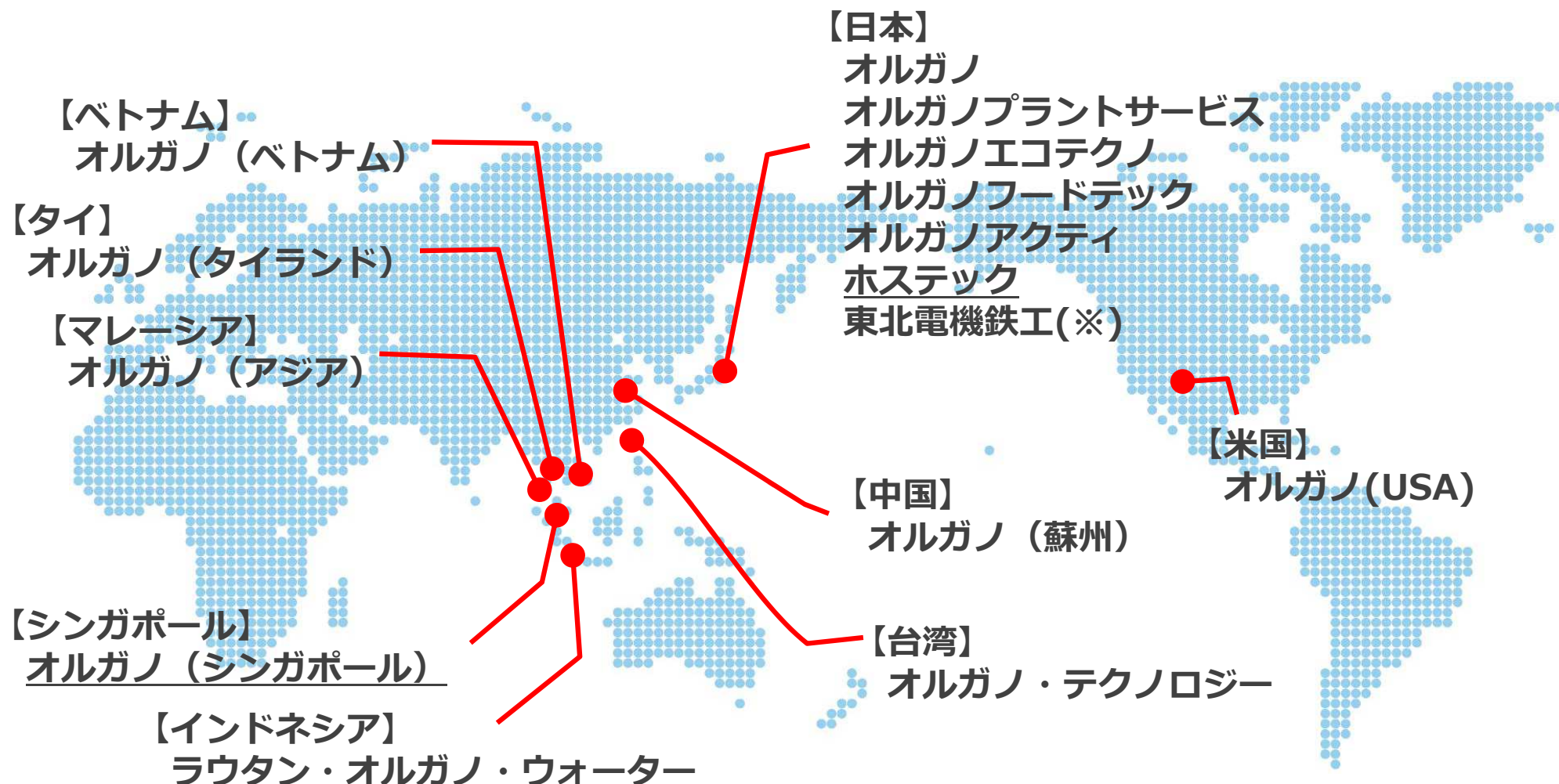
目次

1. 2022年3月期 上期実績
2. 2022年3月期 通期見込
3. TOPICS
4. 会社概要

会社概要

社名	オルガノ株式会社（英名：ORGANO CORPORATION）		
本社所在地	〒136-8631 東京都江東区新砂1丁目2番8号		
設立	1946年5月1日		
代表者	代表取締役社長 内倉 昌樹		
資本金	82億2,549万9,312円		
従業員数	2,458名（連結） ※2021年9月30日現在		
主な事業内容	水処理エンジニアリング事業	プラント事業	大型水処理設備の製造販売
	ニアリング事業	ソリューション事業	設備のメンテナンス・運転管理・改造工事等
	機能商品事業		標準型水処理機器・フィルタ、水処理薬品、食品添加剤の製造販売
主な事業所	本社（東京都江東区）、開発センター（相模原市）、つくば工場（つくば市）、いわき工場（いわき市）、北海道支店（札幌市）、東北支店（仙台市）、関東支店（東京都江東区）、中部支店（名古屋市）、関西支店（吹田市）、中国支店（広島市）、九州支店（福岡市）		

オルガノグループ各社



(※)は持分法適用会社、下線は非連結子会社・関係会社。オルガノ (USA) は2021年10月から連結化を予定。
ムルガッパ・オルガノ・ウォーターソリューションズ (インド) は2021年10月に合併解消契約を締結

オルガノグループの歴史

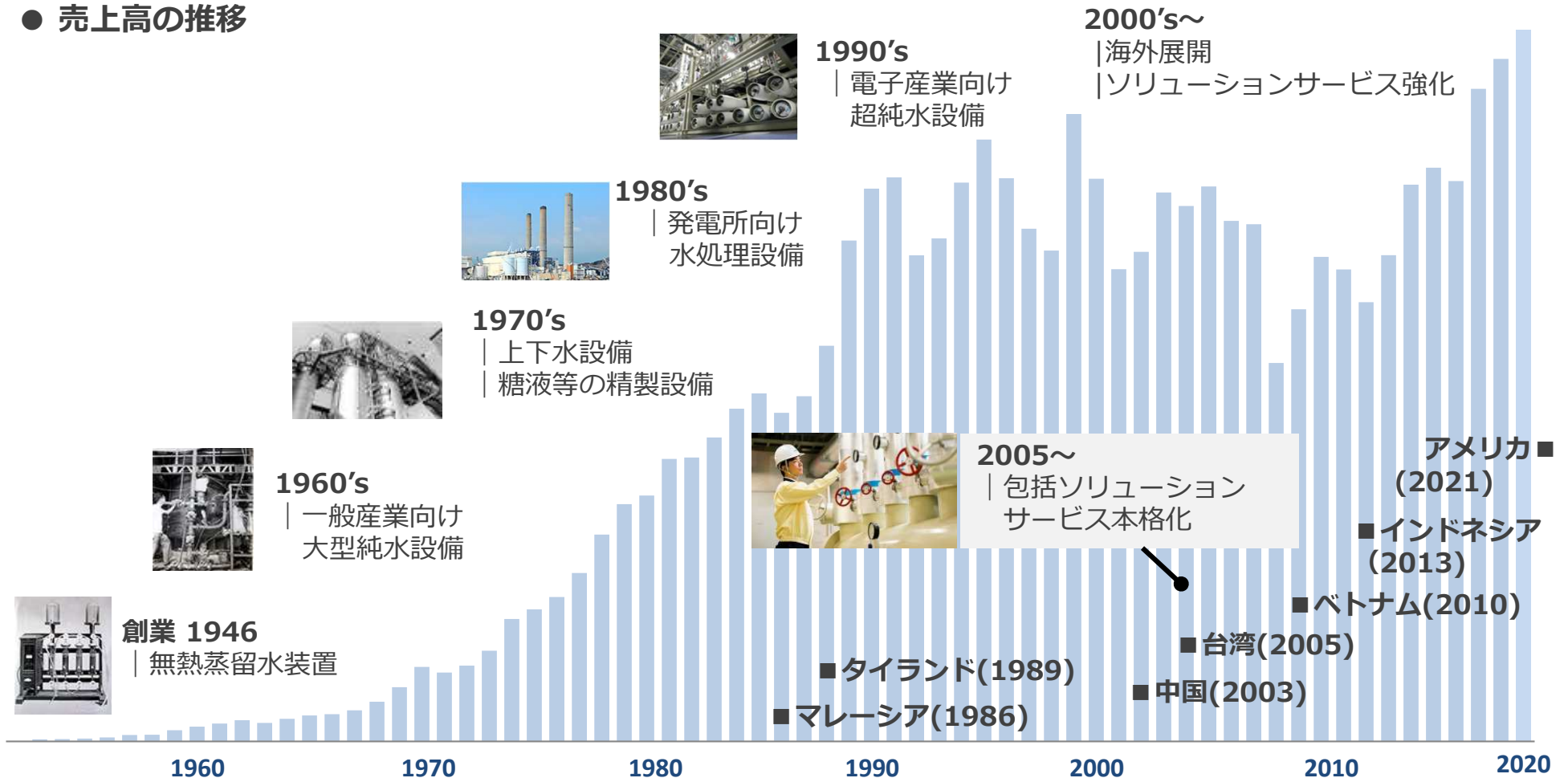
創業期

成長期

成熟期

再成長期

● 売上高の推移



オルガノグループの事業

水処理エンジニア事業

ソリューション
433億円



2021.3期
売上高
824億円

- | 消耗品交換・メンテナンス
- | 運転管理・包括メンテナンス
- | 改造工事
- | 水処理加工受託

プラント
390億円



- | 純水・超純水設備
- | 排水処理・回収設備
- | 有価物回収設備
- | プロセス関連設備

機能商品事業

食品加工材
50億円



- | 食品添加剤
- | 食品素材

2021.3期
売上高
182億円

水処理薬品
69億円



- | 排水・冷却水・洗浄・RO膜・ボイラ等処理剤

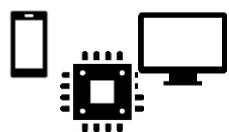
標準型水処理機器

・フィルタ
62億円



- | 純水・超純水装置
- | 浄水フィルタ

電子産業



- ・半導体
- ・FPD
- ・電子部品

電力/上下水



- ・発電所
- ・浄水場
- ・下水処理場

一般産業



- ・医薬/化粧品
- ・食品/飲料
- ・機械/化学

機器/フィルタ



- ・医療/研究
- ・各種製造業
- ・飲食/コンビニ

水処理薬品



- ・各種製造業
- ・ビル/商業施設

食品加工材



- ・食品加工
- ・飲料製造
- ・介護/健食

お問い合わせ先

経営統括本部 経営企画部

TEL : 03-5635-5111 / FAX : 03-3699-7240

ホームページ

<https://www.organo.co.jp>

お問い合わせフォーム

<https://www.organo.co.jp/contact/>



オルガノ株式会社

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

2022年3月期 上期決算説明会 補足資料



オルガノ株式会社

2021年11月9日

<目 次>

1.	2022年3月期 上期実績及び通期業績予想		
	① 連結損益	-----	1
	② セグメント別（連結）	-----	2
	③ 電子産業向 受注高・売上高（連結）	-----	2
2.	主な指標	-----	3

■■業績の予想について■■

本資料に記載される業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。



オルガノ株式会社

1. 2022年3月期 上期実績及び通期業績予想

① 連結損益

(単位：百万円)

	2021年3月期				2022年3月期					
	上期		通期		上期			通期見通し		
	実績	前期比	実績	前期比	計画	実績	前期比	計画	予想	前期比
受注高	44,050	4.5%	94,563	△ 9.9%	53,000	58,903	33.7%	100,000	120,000	26.9%
売上高	45,322	△ 2.9%	100,638	4.3%	50,000	50,001	10.3%	103,000	110,000	9.3%
海外売上高 (海外売上高比率)	12,413	19.1%	24,962	16.0%	17,000	15,677	26.3%	32,500	37,000	48.2%
	27.4%		24.8%		34.0%	31.4%		31.6%	33.6%	
売上総利益 (売上総利益率)	11,359	△ 17.6%	26,326	△ 3.5%	11,400	12,404	9.2%	26,250	27,500	4.5%
	25.1%		26.2%		22.8%	24.8%		25.5%	25.0%	
販管費	8,176	△ 2.1%	16,746	△ 3.6%	8,800	8,632	5.6%	18,000	17,500	4.5%
営業利益 (営業利益率)	3,182	△ 41.5%	9,579	△ 3.3%	2,600	3,771	18.5%	8,250	10,000	4.4%
	7.0%		9.5%		5.2%	7.5%		8.0%	9.1%	
経常利益 (経常利益率)	3,276	△ 38.4%	9,900	△ 0.3%	2,550	4,193	28.0%	8,150	10,300	4.0%
	7.2%		9.8%		5.1%	8.4%		7.9%	9.4%	
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益 (当期純利益率)	2,080	△ 42.8%	7,074	△ 1.2%	1,500	2,696	29.6%	6,500	8,200	15.9%
	4.6%		7.0%		3.0%	5.4%		6.3%	7.5%	

② セグメント別（連結）

（単位：百万円）

	2021年3月期				2022年3月期					
	上期		通期		上期			通期見通し		
	実績	前期比	実績	前期比	計画	実績	前期比	計画	予想	前期比
受注高	44,050	4.5%	94,563	△ 9.9%	53,000	58,903	33.7%	100,000	120,000	26.9%
水処理エンジ	34,948	5.7%	76,227	△ 11.9%	43,700	48,998	40.2%	81,000	100,800	32.2%
機能商品	9,101	△ 0.1%	18,336	△ 0.9%	9,300	9,905	8.8%	19,000	19,200	4.7%
売上高	45,322	△ 2.9%	100,638	4.3%	50,000	50,001	10.3%	103,000	110,000	9.3%
水処理エンジ	36,402	△ 2.5%	82,424	5.8%	40,700	40,378	10.9%	84,000	90,800	10.2%
機能商品	8,920	△ 4.3%	18,213	△ 2.0%	9,300	9,623	7.9%	19,000	19,200	5.4%
営業利益 （営業利益率）	3,182 7.0%	△ 41.5%	9,579 9.5%	△ 3.3%	2,600 5.2%	3,771 7.5%	18.5%	8,250 8.0%	10,000 9.1%	4.4%
水処理エンジ （利益率）	2,636 7.2%	△ 44.9%	8,466 10.3%	△ 5.1%	2,000 4.9%	3,040 7.5%	15.3%	7,050 8.4%	8,600 9.5%	1.6%
機能商品 （利益率）	545 6.1%	△ 16.8%	1,113 6.1%	12.8%	600 6.5%	730 7.6%	34.0%	1,200 6.3%	1,400 7.3%	25.7%

③ 電子産業向 受注高・売上高（連結）

（単位：百万円）

	2021年3月期				2022年3月期					
	上期		通期		上期			通期見通し		
	実績	前期比	実績	前期比	計画	実績	前期比	計画	予想	前期比
受注高	19,557	44.3%	42,575	△ 11.7%	25,000	32,392	65.6%	47,500	67,300	58.1%
国内	8,835	△ 2.6%	16,903	△ 43.7%	13,000	17,362	96.5%	22,500	30,000	77.5%
海外	10,722	139.2%	25,672	41.3%	12,000	15,030	40.2%	25,000	37,300	45.3%
売上高	22,251	△ 0.1%	47,631	13.4%	26,000	25,376	14.0%	50,500	57,300	20.3%
国内	11,374	△ 19.5%	26,489	5.4%	12,000	11,849	4.2%	23,500	27,300	3.1%
海外	10,877	33.5%	21,141	25.4%	14,000	13,527	24.4%	27,000	30,000	41.9%

2. 主な指標

(単位：百万円)

	2021年3月期				2022年3月期				
	上期		通期		上期		通期見通し		
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	予想	前期比	
連	設備投資額	369	△ 22.9 %	1,015	△ 12.0 %	1,233	233.4 %	4,500	343.2 %
	技術研究費	1,188	13.4 %	2,300	5.6 %	1,107	△ 6.9 %	2,300	△ 0.0 %
	減価償却費	586	5.1 %	1,212	1.9 %	594	1.5 %	1,200	△ 1.0 %
	有利子負債	11,569	△ 10.5 %	16,005	64.3 %	14,187	22.6 %	17,000	6.2 %
結	金融収支戻	△ 24	—	△ 62	—	△ 25	—	△ 65	—
	従業員数 (人)	2,296	+ 47 人	2,319	+ 70 人	2,458	+ 162 人	2,450	+ 131 人
	EPS : 1株当たり当期純利益 (円)	181.54		616.72		234.81		714.00	
	1株当たり配当金 (円/年)	—		114.0		—		144.0	
	ROE : 自己資本当期純利益率 (%)	3.4		11.1		3.9		11.6	
	ROA : 総資産経常利益率 (%)	3.2		9.1		3.7		—	